



日本一人口の多い村 よみたんそん  
人口 41,350 人 (平成31年3月末)

77号 2019年3月  
定例会

災害時の対応や公園の事、  
小学校の建てかえ、ゴミ問題  
について話し合っている事  
を知り、議会が少し身近に感じ  
ました。読谷村がもっとも  
つと良い村になるようによろし  
くお願いします。

かわの 川之上 芽衣  
(読谷小学校 5年)



# 議会だより



主な内容

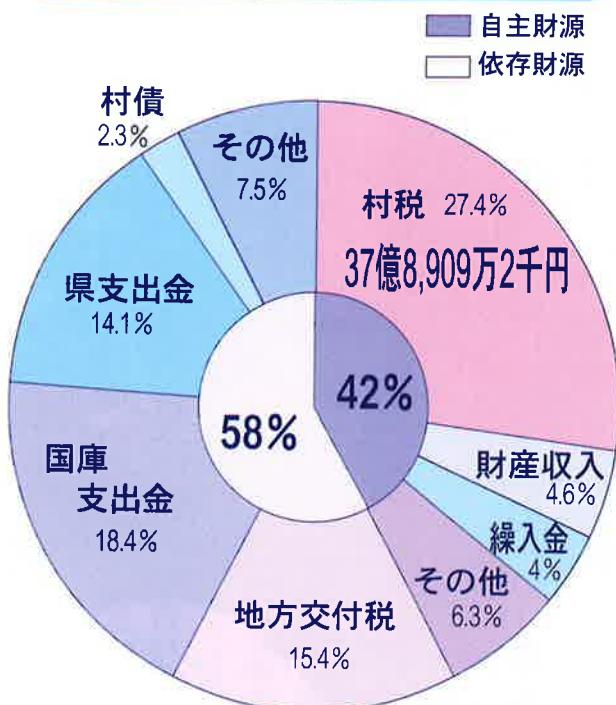
◎一般質問……………p8

2019年(令和元年6月発行)

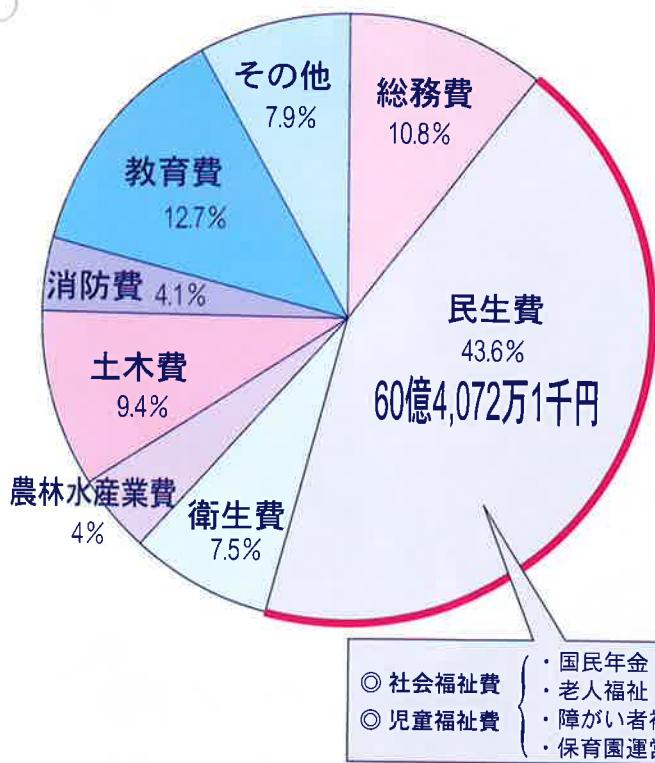
撮影:城間真弓 委員

# 私たちの税金 !!!

## 歳 入



## 歳 出



平成31年度一般会計予算が3月定例議会において認定されました。  
一般会計の歳出予算の総額は138億5千811万1千円で対前年度比7千563万2千円（0.5%）の減  
自主財源は対前年度比2億1,535万5千円（3.8%）の増。また依存財源は対前年比2億9,098万7千円（3.5%）減

- ※自主財源における「その他」とは  
分担金・負担金・使用料・手数料・寄付金・繰越金・諸収入
- ※自主財源  
村が自主的に収納することができる財源で村民税・固定資産税など
- ※依存財源における「その他」とは  
地方譲与税・配当割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、施設等所在市町村調整交付金など
- ※依存財源  
国・県からの補助金や交付金など

## 特別会計予算

診療所特別会計	2億6,891万2千円（前年度比較4.2%減）
国民健康保険特別会計	48億8,339万3千円（前年度比較2.8%増）
後期高齢者医療特別会計	4億3,225万5千円（前年度比較2.2%増）
下水道事業特別会計	3億4,464万3千円（前年度比較4.5%増）
水道事業会計	12億2,802万1千円（前年度比較6.8%増）
合 计	71億5,781万4千円

# このように使われます

## 予算のここに注目！

平成最後の予算を、議長を除く18名の議員で構成する「予算審査特別委員会」にて審査し、その後分割審議（各常任委員会）へと付託されました。

### 総務常任委員会（歳入全般および歳出分割歳出分）

歳入の村税は37億8,909万2千円で前年度と比べて1億4,230万円増額となっている。主な理由は個人村民税の増加と法人税の増加によるものである。

ユンタンザミュージアム観覧料が1,020万円予算計上されており、年間利用者目標を5万人としている。ミュージアム横に新たな駐車場整備も計画されており多くの集客を期待する。

### 建設経済常任委員会（歳出分割審査および特別会計付託分）

鮮度保持施設整備事業補助金の2億7,242万円は、都屋漁港の製氷機新設費用で、イカ漁やマグロ漁といった漁業の鮮度保持のための補助予算である。

スポーツコンベンションキャンプ誘致事業2,200万円は、ニュージーランド男女ラグビーチームの受け入れへの県補助金をはじめ各スポーツ誘致の予算である。また、本年度よりネーミングライツ事業が新しく発足し、地元企業の名前の付いた施設がスタートした。

### 文教厚生常任委員会（歳出分割審査および特別会計付託分）

認可保育園施設整備助成金2億6,910万円が新規に予算化されており内容は、村立北保育所を認可保育園へ移行する事業である。

健康増進センターが本年度より、民間委託された。更なる村民の健康維持のため努力して頂きたい。

読谷診療所は現在、研修医を含め3名の医師体制で診療に当っている。新たに、これまで購入した高額医療機器を村内クリニックと共同使用をしていく考えである。

### 平成30年度一般会計補正予算(第七号)県民投票費含む

賛成討論 山城 正輝



県民投票条例について 選挙で何遍決断を下しても、その民意が反映されていない。今回の県民投票は辺野古の埋立問題に絞っての実施であり投票率を上げ県民の声を示す必要から議案第七号に賛成する

(前号にて掲載できなかった山城議員の賛成討論を載せています。)

# ここに注目！

27日間の会期で開かれた3月定例会には、一般会計をはじめ6会計の新年度予算を中心に議案が提出され全会一致で可決しました。

## パークゴルフ場オープン



◎ユンタンザパークゴルフ場 使用料金表					
利用区分	使用料				
	村内		村外		
高校生以下	一般	65歳以上	高校生以下	一般	
1ラウンド (18ホール)	200円	400円	300円	300円	700円
2ラウンド以降 (18ホール)	100円	200円	150円	150円	350円
回数券 (12枚綴り)	—	4,000円	3,000円	—	7,000円
用具貸出 (クラブ・ボール)	100円				
シャワー室(3分)	100円				
利用時間 8:30~19:00 (10月1日~2月末 8:30~18:00) 休場日 毎週火曜日					



## トレーニング室オープン



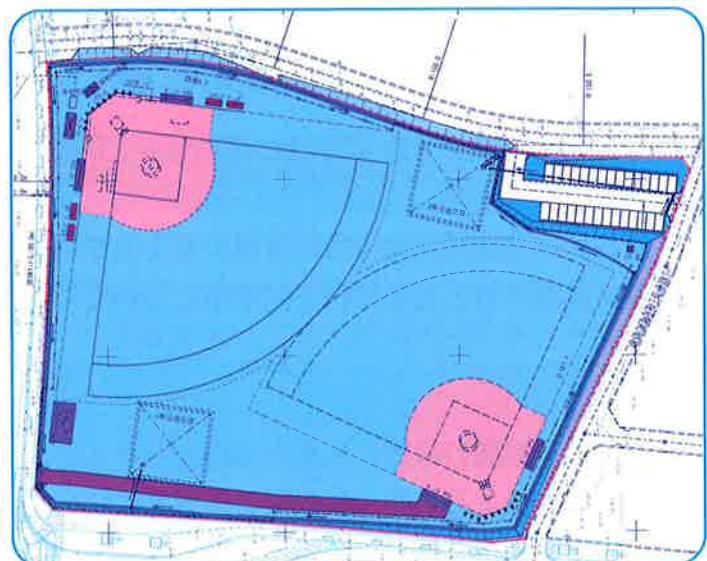
区分		1人2時間あたりの使用料
村内	中・高校生	100円
	大学・一般	200円
村外	中・高校生	200円
	大学・一般	300円

## 都屋漁港に新たな鮮度 保持施設



老朽化し、建て替えが必要な製氷施設

## かわまわ 川回る広場



公式ソフトボール球場整備

## 放課後児童クラブ



※写真は古堅南小の南学童です。

喜名小学校内に建設予定!!

## 新しい取組

※1歳児を対象にあたふくかぜ  
予防接種ワクチン

## 村防犯灯のLED化へ



1,860基余りを  
メリットの多いLEDへ

# 意見書・抗議決議

## ◎トライイ通信施設の米軍ヘリ吊り下げ運搬に対する 意見書・抗議決議 賛成多数で可決！

読谷村議会は村民の生命、財産、安全と平穏な生活を守る立場から米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について早急に取り組むよう強く要求する。

### 記

- 1 全米軍機の徹底した安全点検を行うこと。
- 2 米軍による事件・事故後の処理等については、地元自治体に早急に連絡すること。
- 3 在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤退を図ること。
- 4 米軍優位の日米地位協定を抜本的に改定すること。

平成31年2月25日 沖縄県読谷村



※決議後、防衛局へ抗議

## ◎辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議

賛成多数で可決！

**★ 一般質問 目次 ★**

**● 上地 榮 (P 8)**

1. 学校運営協議会の設置について  
(他 5 つの質問)

**● 國吉 雅和 (P 8)**

1. 平成31年度施政方針について  
(他 5 つの質問)

**● 津波古菊江 (P 9)**

1. 古堅南地域の交通安全について  
(他 3 つの質問)

**● 長濱 宗則 (P 9)**

1. 読谷村のふるさと納税の取り組みを問う  
(他 5 つの質問)

**● 神谷 嘉栄 (P 10)**

1. 平成31年度施政方針より  
(他 3 つの質問)

**● 大城 行治 (P 10)**

1. 村長の言う雇用主は村民であるについて  
(他 3 つの質問)

**● 松田 正彦 (P 11)**

1. ふるさと納税について  
(他 2 つの質問)

**● 比嘉 幸雄 (P 11)**

1. 長浜船揚場の浚渫の必要性について  
(他 3 つの質問)

**● 山城 正輝 (P 12)**

1. 村保育所について今後の整備、運営方針は  
(他 6 つの質問)

**● 城間 真弓 (P 12)**

1. 認可保育園、公立保育所の運営を問う  
(他 3 つの質問)

**● 伊佐 真武 (P 13)**

1. 比謝横断線（仮称）について  
(他 4 つの質問)

**● 與那霸徳雄 (P 13)**

1. 道路整備について  
(他 2 つの質問)

**● 當間 良史 (P 14)**

1. 北地区整備事業を問う  
(他 3 つの質問)

**● 上地利枝子 (P 14)**

1. 聴覚障がいの方々に対する行政サービスについて  
(他 5 つの質問)

**● 松田 昌邦 (P 15)**

1. 村長の施政方針より  
(他 4 つの質問)

**● 山内 政徳 (P 15)**

1. 沖縄県の工事関係の補助金について  
(他 4 つの質問)

**● 仲眞 朝雄 (P 16)**

1. 村立幼稚園の食の安全について  
(他 2 つの質問)

**● 城間 勇 (P 16)**

1. 国道58号線バイパスの進捗を問う  
(他 2 つの質問)



詳しくは読谷村ホームページ  
の議会 (LIVE&映像ライブラリ) で動画が観れます !!



読谷西部土地改良地区（公園周辺）

くによし  
國吉 雅和

トライ通信施設内の遺跡の現状は

うえ ち  
上地 勲

### 平成31年度施政方針について

**答** 第2期子ども・子育て支援計画は放課後児童クラブと低年齢児の保育提供体制確保の実施等について定める。

**答** 古堅幼稚園で4月から4歳児保育が始まる。各村立幼稚園でも実施を考えている。

**問** 学校運営協議会とは

**答** 学校運営について、教育委員会や学校に意見を述べる。これまでの学校評議委員制度は廃止。

### おたふくかぜ予防接種全額公費負担（7,250円）

**答** 新年度より一歳児を対象に実施し、数年後の2回目は有料とする。

### 屋内ドーム概算要求見送られる

**答** 国との調整が進まず、令和2年度以降に要求を行う予定。

**問** 屋内ドームを総合情報センター（図書館等）より優先した理由は

**答** 村民ニーズは屋内ドーム整備事業の利用頻度が高い。

### 公民館での学童クラブ実施（三回目）

**答** 放課後児童クラブ設置についての必要性は認識しており、村長部局と教育長部局が一緒になって、検討委員会を開催し、各小学校区への設置に向け調整している。現在、公民館での学童クラブ実施について、府内議論に入っていない。

### 村内学校で教師による体罰

**答** 教師の人権意識を図るために研修、複数による指導体制の構築等、服務規程の遵守に努める。

（提言）

1994年「子供の権利条約」批准 子供は大人と同じように人としての権利を持つ主体である。

### 読谷西部土地改良地区（高志保）農振見直し

**答** 農振除外とする手続きを進めている。

### 学校運営協議会が新年度より設置される

**問** 協議会の規模と事務分掌は

**答** 各学校単位で設置し、委員は12名以下で年3回の会議を予定している。事務分掌は、学校経営、評価、組織編成、予算、施設整備の管理等について協議し、承認する。

### 良質で安全な水を将来にわたり村民に供給するため

**問** 上水道整備のための「中長期的な経営戦略」の策定の中身は

**答** 中長期的な経営のあり方、経営目標等の基本方針をはじめ、既存の施設や配水管の更新計画と財源確保を示す投資、財政計画、そして人材、定員、組織体制等経営健全化についても盛り込んだ内容となる。

### トライ通信施設における18の遺跡の現状は

**答** 18遺跡の内、2遺跡は昨年の8月から発掘調査をしている。残り16遺跡は沖縄防衛局と協議中である。

### 読谷村シルバー人材センターの契約金額は1,600万円台に（平成30年実績）

**問** 今後の方針と支援策は

**答** 会員増強と女性の就業機会創出が必要。運営補助等は今後も支援する。

### 子どもから高齢者まで読谷型地域包括システムを構築

**問** 具体的な内容を問う

**答** 必要となる医療や介護を確保し、各自治会における支え合う地域づくり、農業と福祉の連携、商工業者による高齢者の居場所づくりなどを取り組んでいく。

### 児童虐待防止

**問** 千葉県野田市で発生した事件に対する村長の見解は

**答** 哀悼の意を表する。このような事件が本村で起ることのないよう、適切な対応を行う。



## 動物の遺棄・虐待は 犯罪です。



ながはま むねのり  
長濱 宗則

### 伸びしろが期待できるふるさとづくり寄付金に更なる努力を求める。

問 平成30年度寄付金額は

答 2,264件、8,901万4,440円

問 新聞、雑誌等で日本一の読谷村を全国的に発信出来ないか

答 多額の費用が必要になるため、ポータルサイトを活用してPRに努めたい

### 10月から施行される幼児教育の無償化

問 無償化の対象範囲を伺う

答 3歳児から5歳児の場合は幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育の利用料、保育の必要性がある子どもの幼稚園の預かり保育料、認可外保育施設利用料、一時預かり事業・病保育事業、ファミリーサポート事業の利用料が対象。0歳児から2歳児の場合は、住民税非課税世帯の子どもについても利用料が対象。

### 『犬猫は家族です』犬動物愛護の視点から

問 猫の糞尿被害苦情の実態と対応は

答 平成29年度は21件の苦情の問い合わせ。野良猫の餌やり5件、糞尿被害10件、駆除や保護に関する相談6件、苦情等は現場にて対応。

問 犬猫殺処分ゼロを目指す条例の制定は!

答 沖縄県をはじめ各市町村の目標であり、ボランティア団体と協力していく。村独自の条例は現在のところ考えていない。

### 墓地スプロール抑制に計画された墓地計画の進捗状況は

問 平成24年に策定された読谷村火葬場・公営墓地利用基本計画の内容は

答 火葬場と公園墓地を併設した計画であったが、火葬場建設を優先した。

問 公営墓地計画の課題は

答 近隣との調整、侵入路、財政的な問題等を整備しながら検討していく。



スムーズな右折への対応が  
必要な古堅交差点



つはこきくえ  
津波古菊江

問 県道16号線古堅給油所前交差点から大木バイパスへの右折が大変厳しく時差式か矢印信号機の設置が必要と思うが見解は

答 嘉手納署の答弁として十字路信号機を時差式にするには交通量の少ない渡具知方面から嘉手納への右折が出来ない。矢印信号にすると渡具知から嘉手納方面への右折帯が必要となるが道幅が狭く厳しい。嘉手納バイパスとの兼ね合いもあり調整をしながら検討していきたい。

問 渡具知イオンタウン前村道泊城線（古堅776番地2）のS字カーブ地点のガードレール設置で安全確保を

答 平成31年度中には整備が出来る様に職員一丸となって努力する。

問 商工業等研修施設2階ホールを村民誰でもいつでも使える場所に出来ないか

答 8:30~12:00まで3時間30分で7,000円、13:00~17:00の間で8,000円、冷房量1時間1,000円が加算となり料金は条例で決まっている。

問 村長施政方針重点施策より医療機関での病後児一時預かりの対策範囲を病児まで拡充するとあるが病児、病後児一時預かりの対象年齢、医療機関名、病後児一時預かりの実績H28~H30年12月までを求む

答 対象年齢は乳児から小6年生までの児童、委託医療機関は屋比久小児科、実績H28年106人、H29年65人、H30年38人。預かりに際しては屋比久小児科で診察を受けて預ける。

問 「介護予防日常生活圏域ニーズ調査」についての生活実態アンケート調査の進捗状況と調査活用の現状は

答 65才以上の要介護認定者以外1,986人発送、3月現在865件43.6%、活用は要介護状態になる前の実態把握（社会参加や家庭内状況）介護保険事業計画の基本データ、気になる高齢者への訪問や地域診断課題の抽出

# Q 村政を問う 一般質問



男子15人制ラグビー日本代表のキャンプ

おおしろ  
大城 行治

指定管理へ移行の健康増進センター

かみ や  
神谷 嘉栄

## 村長の言う「雇用主は村民」であるについて

**問** 村民に求められる職員像とは

**答** 行政の仕事は、住民との信頼関係なしにはできない。常にコミュニケーションをとりながら運営している。村づくりを行うための人材育成を今後も取り組んでいきたい。

## 本村の政策評価（行政評価）について

**問** 本村の行政評価の現状と課題は

**答** 現在、行政評価は導入していない。効率的で効果的な行政運営を進めるに当たって行政評価の導入は重要なことである。今年度より行政評価の一部である事務事業評価の導入に向けて取り組む。全体事業412事業中、382事業を評価の対象にしていきたい。限られた財政の中で効率よく運用していくことが大事である。

## シルバー人材センターについて

**問** 会員数、受注件数、公益法人認可は

**答** 平成30年度（2月現在）会員数114名、受注件数211件、平成33年度をめどに公益法人の認可を受ける予定。会員数については65歳から69歳が47名と多い。受注については、発注者とのマッチングが課題である。公益法人のメリットとして国から運営費の補助がある。行政としてもしっかり支援していきたい。

## スポーツキャンプ受け入れについて

**問** 現状と今後の課題は

**答** 平成23年度に6件であったキャンプ件数は、平成29年度には26件となり定着してきた。キャンプ以外にも国際大会や公式戦も開催された。今後も施設の維持管理、整備等を適切に行っていきたい。また、本村において教育的あるいは経済的效果をどのように見出すのか、意識的に取り組んでいきたい。

## 平成31年度施政方針より

**問** 瀬名波土地改良事業の進捗状況は

**答** 2020年度の採択にむけて、県とのヒアリング、地元との協議を進め、面積の確定及び本同意作業を行っている。

**問** 事業完了は何年を予定しているか

**答** 2020年度実施設計、2021年度工事開始、2030年度完成。11年間の工事を予定。

**問** 村は今後どのような営農指導を考えるか

**答** 農業基盤整備の設計段階から露地栽培・野菜施設栽培・花卉施設栽培等を検討し担い手への集積率30%を目標に、効率的な営農体系が行える環境を整備すること、また、リゾートと隣接していることから観光と農業が連携した施設の誘致の可能性も検討、期待できると考える。

## 健康福祉部長に問う

**問** 過去5年間の福祉の成果と評価の総括は

**答** 3認可保育園の増設による保育定員の増と5歳児保育の実施や児童館の設置。喜名小学校区へ放課後児童クラブ設置に向け実施設計。村立幼稚園での複数年保育の実施決定またシルバー人材センターの設置により、高齢者の社会参加活動の増進と地域づくりへの寄与がある。さらに、健康増進センターの平成31年度からの指定管理移行の決定である。課題として、子育て世代包括支援センター等設置の調査・研究の必要がある。

**問** 基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」を見据えた今後の展望は

**答** 子どもの貧困対策を図り、幼保連携による幼児教育・保育の充実や放課後児童クラブ設置。介護・医療が連携した地域包括ケアシステムを構築、障がい者も高齢者も住み慣れた地域で安心して生活ができることを目指す。



堆積物で航路が浅くなり、危険な長浜船揚場！



ひが ゆきお  
比嘉 幸雄

### 長浜船揚場の浚渫の必要性

**問** 完成から20数年が経ち、長浜川からの砂などが堆積し、航路が浅くなり危険である。早めの浚渫を求める

**答** 当面整備を行う予定はない。

**問** この船揚場は漁民だけが使用するものではなく、ニライ消防も定期的に海難救助訓練を行っている。この船揚場の航路、泊地が埋没している状況を把握しているか

**答** 確認はしている。

**問** この24年間何回浚渫をしたか

**答** 自費で土砂を取り除いたと聞いている。

**問** この船揚げ場はサンドポケットや防砂堤もない。言ってみれば海岸線ではないか。県への対策を求められないか

**答** 出来るだけ県にも協力して頂きたい。

(提起) 竣工して24年、正式な浚渫をしていない。干潮時砂が盛り上がり危険である。

早急な対策を求めたい

### 寄付金を増やしている「ふるさと納税」これから展望を問う

**問** 「返礼品」による地場産業の活性化は

**答** 地域の魅力ある商品が日本全国へ発信される機会となり、活性化へつながっている。

**問** 議会からも提言した、担当職員の配置はできないか

**答** 考えていない。

(提起) 1億円といわず、4億・5億円と納税して頂くような施策をとって頂きたい

### 村道比謝横断線の進捗は

**答** ルート確定を行っている。

### 本村の農業振興対策を問う

**問** 優良母牛導入事業のこれまでの成果は

**答** 母牛得点が指標を上回り事業を終了した。

**問** 堆肥センターの進捗状況は

**答** 多くの課題があり建設に至っていない。



ユンタンザパークゴルフ場  
グランドオープン！



まつだ まさひこ  
松田 正彦

### ふるさと納税について

**問** 過去3年間の寄付実績を問う

**答** 平成27年47件、493万4千円、28年1,397件、3,882万6千184円、29年1,796件、4,754万5千円の寄付金がある。

**問** 大幅な金額増の要因は何か

**答** 返礼品の品数をさらに充実させたのが金額増となっている。

**問** 今後の納税奨励企画と課題はなにか

**答** 平成31年度は制度改正が予定され、返礼品は地場産品で寄付額の3割以内のルールが徹底される。今後もさらに魅力ある返礼品を充実することが課題だと考える。

**問** 村民サービスにどのような事業で使うか

**答** 平成31年度は、小中学校の楽器備品購入や、農村公園トイレ改修、防犯灯設置工事など、14事業での活用を予定している。

**問** 事業内容によるが、地元業者を活用して、地元に潤いを

**答** 常に意識して地元業者を活用している。

### パークゴルフ場について

パークゴルフ事業の目的は何か

**答** 本施設の設置目的は、観光振興を図るとともに村民福祉の向上及び健康維持増進に資する施設とする。

**問** 具体的に直営方式とは

**答** 施設の芝生管理などは地元業者に委託、専属職員を配置して、直営方式で運営していく。

**問** 初年度、2年目、3年目の収支計算計画は

**答** 初年度、年間利用者数1万8千人、想定利用割合を乗じて算出し、年間収入1,043万3千円を見込む。支出については、施設管理運営及び芝生管理人件費とその他光熱水費等経費で1,632万5千円を見込み、591万2千円のマイナスとなる。



笑顔あふれる保育をこれからも!!

しろま  
城間 真弓

### 認可保育園、公立保育所の運営状況を問う

**問** 平成31年度、4月スタートに向け、待機児童の状況は。また、保育士の人数はしっかりと確保できているか

**答** 調整中であり現時点での待機児童数を出すことはできません。保育士においては最低限の確保はできていると考える。

### 雇用主は村民という視点からの行政サービスとは

**問** 村民から行政の窓口対応時に、不安と不信感につながる対応をされたと相談を受けた。村役場として、その課題と具体的な対策を問う

**答** ご指摘の窓口サービスと村民の案内については、庁内でも再度確認しながら気を引き締めて対応したい。

### 虐待防止に向けた村内の子育て支援、保護者サービスの状況を問う

**問** 乳幼児健診や未就園、不就学等で福祉サービス等を利用していないなど、関係機関が安全を確認できない子どもはいるか

**答** 安全が確認できていない幼児は1名。小学生は2名となっている。

### その家庭への対応は

**答** 幼児に関しては訪問し祖父母に確認したところ、家族と海外に行っていたということで今現在は確認できている。小学生の2名に関しては兄弟であり、親との連絡はとれているが、兄弟の目視による確認はできておらず、現在も進行形で対応を行っている。

### わんぱく広場から未来を担う人材づくりへ

**問** 今後各小学校の敷地内に学童クラブ設置の計画はあるが、わんぱく広場はこれまで通り重要な事業として継続的な運営を求める。そのことについて村の方針は

**答** わんぱく広場については、これまで通り継続して実施していく。



この子らに『待機』と『虐待』のない政治を!

やましろ  
山城 正輝

### 待機児童は0~2才児、2園増改築!

**問** 待機児童は、10月からの保育料無償化でさらに増え、政府のプランで約30万人の受皿が必要といわれる。1園の増改築で解消できるか。

**答** 低年齢の枠を拡充することで、解消に努めている。

**問** 保育士確保のために、村単独で他市町村が実施している業務効率化とか体制強化などに、なぜ参加しないのか

**答** これは、全て認可保育事業であり、認可園の皆さんには申し上げている。

### 国保税の均等割、平等割を廃止すれば、「けんば」並に安くなる!

**問** 負担増につながるといわれる一般会計からの「繰り入れ」廃止について、国はどう指導しているか

**答** 赤字解消のため勧められている。（「廃止せよ」と）

**問** 現代の人頭税といわれる「均等割」「平等割」を廃止すべきではないか。

**答** 財源確保が難しくなるため検討してない。  
**児童虐待防止条例の制定は、県や市町村の動向を見ながら検討!**

### 独立性と公平性が問題視される議員選出村監査委員枠の廃止については、議会と意見交換!

**辺野古新基地建設反対県民投票は、大変意義深いものだった！**

### 座喜味前田地区の宅地への見直しは、県と協議検討！

**問** 農振地域整備アンケートの結果は、どういうものか

**答** 農用地全域で36件の農用地除外希望があった。

**問** 前田地区見直しは、どうなっているか。

**答** 基礎調査時に、見直し検討地として現地調査した。

### 座喜味ジョーガー北の生活道修復は、自治会、地権者と同意後取り組む！

**問** 世界遺産バッファゾーン内で、地権者が水溜り修復している。地権者は何名か

**答** 3名3筆



破損したポストコーン

よなはのりお  
與那霸徳雄

数年後に撤去予定の比謝川下流堰

いさ しんぶ  
伊佐 真武

## 道路整備について

**問** 村道波平3号線と県道6号線の交差点部分へのポストコーン設置目的は

**答** 波平大当地域の通学路であり道路幅員が広く安全を確保する目的で横断歩道とポストコーン・ゼブラ帯を設置。

**問** ポストコーン設置日時と交差点の事故件数は

**答** 平成29・30年物損事故6件発生、設置後は0件、横断歩道設置は1月中旬。

## ゆいま～る（介護予防）

**問** カラオケセッットの活用状況は

**答** 23ヵ所の内、18ヵ所でほぼ毎回活用されている。

**問** 料理講習会の実施は

**答** 年3～6回の料理講習会と今年度は、地域調理講習会として7ヵ所で実施予定。

**問** 高齢者向けの食事レシピ作成に取り組む考えは

**答** ゆいま～る関係者に必要に応じて過去の分を含めレシピ集の配布を考えている。

**問** 昼食時間帯での村統一ゆいま～る実施の考えは

**答** 昼食時間帯実施で男性高齢者の参加が増えたので実施効果を呼びかけたい。

## 保育園・幼稚園防災訓練は

**問** 村立保育園・認可及び認可外園の防災訓練実施は

**答** 年1回防災訓練実施と毎月避難訓練実施。

**問** 幼稚園等の防災訓練は

**答** 避難訓練実施計画に基づき年2回。火災や地震・不審者侵入想定訓練実施。

**問** 小学校、幼稚園の災害時の避難行動マニュアルと職務分掌は

**答** 各幼、小、中学校とも避難計画、危機管理マニュアルに基づき避難訓練実施。

## 比謝横断線の状況を問う

**問** ルート設計の進捗と地権者数は何名か。また地元説明会と地権者への同意作業はいつ頃か

**答** 沖縄防衛局と調整を行っており、今年の8月完了予定。地権者数については業務の途中であり、ルートの確定後に提示できるものと考えている。地元説明会及び同意作業等についても、ルート確定及び関係機関と調整の上、時期は決定していきたい。

## 長田川可動堰の設置計画を問う

**問** 可動堰の設置計画の概要と計画期間及び可動堰完成後の周辺整備についての考えは

**答** 概要としては比謝川下流堰撤去計画における、長田川への取水用可動堰設置工事となっている。期間は平成30年から平成33年度まで、周辺整備については、地域の皆様方と意見交換を通して県企業局とともに検討していく。

## 大湾東区の工事について

**問** 地区内の個人住宅の建築工事が本格化するのはいつ頃か。また住宅建築工事の際、赤土流出防止策はどうなっているのか

**答** 平成33年度以降に住宅建築は本格化する。その際には赤土等を防止するため必要な措置を講じるよう、努めていきたい。

## 地域振興センターの職員駐車場をアスファルトへ

**問** アスファルト舗装に改善できないか

**答** ロードパークの計画等、全体計画の中で検討課題としていきたい。

## 県道比謝団地について問う

**問** 団地北側から伊良皆南線へ歩行者用の通路が確保できないか

**答** まずは団地住民の合意形成と管理者である沖縄県との協議が先に必要と考える。



はじめて手話通訳を入れての傍聴席

うえ ち り え こ  
上地利枝子

### 聴覚障がい者の皆さんに対する行政サービスについて

**問** 役場窓口での手話通訳配置の現状

**答** 手話通訳嘱託職員を一人配置し役場内の全窓口での対応をしている。

**問** 障がい者相談員配置の（ピアカウンセリング）考えは

**答** 必要と認識。福祉団体等と相談中。

**問** UDトークの活用

**答** 発言者の音声を瞬時に文字変換し、画面等へ表示する優れたもので、今後本村でも活用していきたい。

**問** 聴覚障がい者への支援

**答** 村内の聴覚部皆さんと意見交換し、必要なサービス確保を行っていきたい。

### 放課後スポーツ活動の充実について村長と教育長に問う

**答** (村長) 施設、器具については当然年次的に公で整備していく。運営は「自主自立、自助共助」でお願いしたい。

(教育長) 練習環境を良くする為に、保護者、監督の皆さんと意見交換をしながら出来るところから今後支援をしていきたい。

### 民生委員児童委員協議会の担当圏域について

**問** 複数民生委員児童委員協議会の考えは

**答** 現在協議会の中で調査研究を進めている。

### 旧読谷中学校跡地計画について

**問** 周辺道路と排水処理はどのように整備されていくのか

**答** 施設の東側と西側に県道12号線から上地波平線に接する道路を整備し、排水溝の改修も予定している。

### 地域包括支援センター設置の考えは

**問** 中学校区に配置する予定はないか

**答** 考えていきたい。

### 福祉事務所設置の考えは

**答** 望ましいと考えるが今は激しい。

整備の進捗状況が気になる  
跡地利用（北地区）とう ま りょう じ  
當間 良史

### 北地区整備事業はどうなるか！

**問** 旧飛行場跡地北地区整備事業の事業費が大幅にカットされているが整備は進むか

**答** 平成30年度までに特定防衛施設調整交付金（9条予算）にて雨水管の整備を終えていたが、平成31年度予算においては、調整交付金の配分調整において計上できなかった。引き続き道路用地等を地権者と話し合い今後約5年間で整備していく予定

### 放課後児童育成補助金の活用を！

**問** 村内で補助金を活用して運営している事業の数は、また補助内容は

**答** 本村で補助金を使って運営しているのは、南学童クラブの1件で、補助率は国3分の1、県3分の1、村3分の1となっている。

**問** 新規で事業を行いたい事業所はどうすれば良いか

**答** 「読谷村放課後事業健全育成事業の届け出に関する要綱」を平成31年4月より施行を予定。事業開始に当たっては事前協議を行い、設備や職員配置基準に適合しているか確認をしていく。

**問** 県内27市町村の399カ所がこの補助金を活用し、放課後行き場のない子供たちのために活用されている。近隣町村、嘉手納3カ所、北谷6カ所、那覇市では81カ所の事業所がこの補助金を活用しているが本村は1カ所しかない

**答** 学童に関し読谷村はかなり遅れていると認識しており、今回やっと今後について話し合いを持った。その中で小学校区内の話が持ち上がり、喜名小学校区、読谷小学校区という形で整備していく、新規の事業所については予算上の事もあるので調整をしながら受け入れていきたい。



予算減の為工期が遅れている  
比謝～牧原線



やまうち  
**山内 政徳**



読谷道路延伸



まつだ  
**松田 昌邦**

### 沖縄県からの工事関係の補助金が少なくなっているが理由はなにか

**答** 平成26年度から本村道路事業の要望額に対して、8割、7割、6割、5割と右肩下がりで落ちてきている。

### 旧読谷中学校跡地はどうなっているのか

**答** 用途地域の変更手続きをしており、それが決まり次第開発行為の事前協議に入る。イオン琉球株式会社に問い合わせたところ、平成31年の予定が平成32年の春にオープンしたいとの事である。

### 各農業生産法人の状況はどうなっているのか

**答** ここ近年売り上げが横ばい、若干下降気味また右肩上がりで売り上げがあがっている法人それぞれである。

### 農地の貸し出し単価はいつ決まるのか

**答** 今年4月の農業委員会の総会に向けて、料金設定の準備を進めている。

### 下水道整備についてこれからの整備計画は

**答** 今後は県との計画の進捗状況を含めて、適切な見直しが必要だと考えている。

### ふるさと納税について、新たな取り組みは

**答** 平成30年度は新たに、楽天ポータルサイトを追加し取り組んでいる。平成31年度についても新たなポータルサイトの追加を検討し、実施していきたいと考えている。

### 村長の施政方針より

**問** 地域包括ケアシステムの構築とは

**答** 子どもから高齢者まで切れ目ない支援及び各サービスが提供され、あらゆる視点から福祉を支えて行く地域の連動を目指す。

**問** スポーツコンベンション事業の成果と2020年以後の展望及び村民のより利便性の高い新たな体育施設とは

**答** 村内への経済効果、競技普及、青少年健全育成の一助になっている。今後関係者からの評価により、新たなキャンプ誘致や多くの観光客が訪れることも期待する。また、陸上競技場北側に新たな体育施設（仮称）川回る広場建設を予定している。

**問** 本村の再生可能エネルギー設備の設置状況と展望は

**答** 太陽光発電として、よみたん斎苑、他1施設がある。展望として公共事業等で太陽光発電、風力発電等の導入に努める。

**問** 国民健康保険及び後期高齢者医療の推移と課題は

**答** 国民健康保険は被用者保険への移行などで加入者は減少傾向にある。一方一人あたりの医療費は増加である後期高齢者医療は加入者、医療費ともに増加傾向にある。課題は保険税、保険料の収益率向上の取り組と住民の健康保持、増進による医療費等の支出抑制が重要になる。

**問** 読谷道路の延伸（うるま市東恩納 国道329号線への接続）を要請検討すべきでは

**答** 中部市町村会としても要請も行っており、国、県が構想路線として位置づけできるよう粘り強く取り組む。

**問** 県道6号及び県道12号線に次世代型路面電車（LRT）の可能性は

**答** 県が策定する鉄軌道計画を注視し、情報収集等を積極的に行っていく。



温泉付きリゾートホテル予定地

しろま  
城間 勇

### 沖縄西海岸道路、国道読谷道路、国道嘉手納バイパスの進捗状況を問う

**答** 読谷村から糸満市に至る延長約50キロメートルで約15キロメートルが開通している。読谷道路は、親志から座喜味では橋梁上部下部工事を、また村道中央残波線から大木では函渠工事を進めている。進捗率は約33%。嘉手納バイパスは古堅から嘉手納町兼久に至る、延長約3.2キロメートルの道路。大興建設前の道路をパチンコ店前の国道58号にタッチする工事進捗率は約13%。

### 渡具知海岸沿いの遊休地への温泉付きリゾートホテルの実現に関する進捗状況について。経営計画、進入路、景観条例、地域とのかかわり方について

**答** 客室約200室を保有する天然温泉を活用した保養型リゾートホテルと伺っており、進入路を含む開発協議事項については、開発事業者及び府内関係部局と引き続き協議を行っている。本開発については、現在事前協議の段階であり、開発に際して地元を含めた地域経済の活性化を図っていきたい。具体的な手続に入っていくところで、温泉付リゾートホテルが地域密着型で成功することをサポートしていきたい。

### 交通安全対策について

**問** 国道読谷道路、古堅南クリニック東側三差路への信号機設置について

**答** 危険性は把握しておりますが、嘉手納警察署に確認したところ、既存の信号機との距離が近いため設置は難しい。

**問** 村道泊城線は児童生徒の通学路であり、ガードレールの設置が必要

**答** 予算を確保した上で、ガードレール等の安全対策を行っていきたい。

ユンタンザミュージアム  
ガイドの活用を!!なかま  
仲眞 朝雄

### 村立幼稚園のおやつに異物が入っていたことの詳細と一連の経緯を求める

**問** 食の安全についての認識は

**答** 2園のおやつであるくず餅に木片が混入。納入業者によると、原因は、鍋で材料をかけ混ぜる際に使用の木製のへらが老朽化、木片が剥がれて混入したこと。へらはプラスチック製に取り替えた。健康被害等の報告はなかったが、口に入れるものについては安心安全でなければならず、納入業者には衛生管理の徹底と再発防止を確認している。

**問** おやつ等に関する管理マニュアルが必要と思われるがどうか

**答** 幼稚園には、異物混入対応マニュアルは未だ作成されていない。しかし、危機管理マニュアル、幼稚園の異物対応マニュアルを、今後検討していきたい。

### 広報よみたんの誌面が読みやすくなったとの評価について

**答** 「読んでみたくなる」工夫を随所に。その取組みが評価されたことを励みに創意工夫を続けていく。

- ・文字の判読性が向上。
- ・写真を効果的に多用し記事の訴求力を高めた。
- ・文章を要約しわかりやすい文章を意識している。

**問** 村民への到達率と課題は

**答** 每月1万5100部の全戸配布により村民全体が読者。

**答** これまで広報よみたんでは政策等を十分に伝えきれていなかった。

取組んでいる政策の特集ページなど、村をアピールする広報誌を作っていく。

※他に、座喜味ミュージアム、座喜味城ガイドについて質問しました。

## 総務常任委員会

### ◎地域防災計画の現状と課題について



ニライ消防本部にて緊急時の対応について



先進地（北谷町栄口区自治会）研修

## 建設経済常任委員会

### 生活道路優先順位基準と目的

**他計画との整合性**：地域の要望に加え、村全体の要望等との整合性を図っていく。

**必要性**：歩行者や交通状況を勘案し、整備の必要性を評価する。

**障害度**：道路の劣化状況を評価する。

**地域合意状況**：事業実施に向けた環境の成熟度合いを評価する



各地域の生活道路実態調査をする

## 文教厚生常任委員会

### ◎わんぱく広場の現状と課題について

### ◎「トライ通信施設における遺跡を原位置保存することに関する請願」について ※引き続き継続審査中



横田自治会の方言講座



トライ施設内の遺跡の発掘調査

# 政務活動費は

地方議員の調査その他の活動に必要な経費である。

政務活動費をめぐっては、ここ数年各地で不祥事が相次ぎ、マスコミ報道の中には、月額何十万など、極端な事例が見られ、地方議員はすべて高い報酬や政務活動費を支給されるという誤解も多い。そこで、議会の透明化を推し進めることでも本村議会の政務活動費の現状を書いてみたい。

文仲真朝雄

## 交付の現状

村長に申請し、月額1万5千円×12ヶ月=最大年間18万円が交付される。

30年度交付総額が2,250,000円。使われた額1,775,610円。使途は基準が定められており、残途金は返還される。

## 使途の明確化と開示

政務活動費を使った議員は収支報告書、領収書等のコピーを提出しなければならない。

それらは5年間保存されており、閲覧または、コピーの交付を請求できる。

## 評価と課題

先進地調査や政策研究に取り組みやすくなり、一般質問などへのフィードバックが見られるとの評価がある。

一方、議員からは、もっと使い勝手のよい制度を求める声や制度そのものを廃止すべきとの意見もある。

また、さらなる透明性の確保や、HPでの情報開示を求める村民の声もあり対応が求められる。

※政務活動費についてのご質問、疑問点など  
議会事務局までお問い合わせください。

## 平成30年度政務活動費収支報告

氏名	使途							交付総額	残高 (返還額)
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費		
與那霸 徳雄	81,160	150,876						232,036	180,000
仲 真 朝 雄								0	90,000 90,000
大 城 行 治		71,342			33,505			104,847	90,000
山 内 政 徳	175,100							175,100	180,000 4,900
上 地 利枝子								0	90,000 90,000
當 間 良 史	92,800	127,100						219,900	180,000
津波古 菊 江		81,100						81,100	90,000 8,900
城 間 勇	95,280							95,280	90,000
松 田 昌 邦	81,160			7,344			2,602	91,106	90,000
長 濱 宗 則	171,600				9,024			180,624	180,000
比 嘉 幸 雄	171,600	205,300						376,900	180,000
神 谷 嘉 栄	81,160	81,878						163,038	180,000 16,962
上 地 榮	172,480					30,000		202,480	180,000
松 田 正 彦								0	90,000 90,000
城 間 真 弓								0	90,000 90,000
伊 波 篤		95,378			1,000			96,378	180,000 83,622
仲宗根 盛 良 <small>任期: 平成30年9月まで</small>	2,327	83,948			5,782		15,067	107,124	90,000
山 城 正 輝						申 請 無 し			
國 吉 雅 和						申 請 無 し			
伊 佐 真 武						申 請 無 し			
計	1,124,667	896,922	0	7,344	49,311	30,000	17,669	2,125,913	2,250,000 474,384

※交付総額より合計額が多い分は自己負担としています。

# 平成30年度 政務活動研修等

研修議員	研修期間	研修先	研修目的
與那覇 徳 雄	8月2日～3日	滋賀県大津市（研修所）	「豊かな長寿社会を将来世代に」他
	1月9日～11日	滋賀県大津市（研修所） 大阪市浪速区(大國保育園)	「地域防災力を向上させるために」他 隣保事業について
	1月28日～29日	長野県小諸市 長野県佐久穂町	小諸市健康づくり計画、他 地域コミュニティ活動の課題、他
大城 行 治	1月17日～18日	滋賀県大津市（研修所）	自治体財源の見方
山 内 政 德	11月19日～21日	茨城県ひたちなか市 茨城県笠間市・坂東市	民間賃貸住宅家賃補助制度について 笠間クラインガルテン、ビジネスホテル誘致事業
	2月13日～14日	宮崎県都城市 宮崎県延岡市	ふるさと納税の取り組み、 健康長寿のまちづくり
當間 良 史	11月19日～21日	茨城県ひたちなか市 茨城県笠間市・坂東市	民間賃貸住宅家賃補助制度について 笠間クラインガルテン、ビジネスホテル誘致事業
	3月28日～29日	東京都（セミナー）	「適正な議員定数・議員報酬を考える」他
津波古 菊 江	1月28日～29日	長野県小諸市 長野県佐久穂町	小諸市健康づくり計画、他 地域コミュニティ活動の課題、他
城間 勇	6月6日～7日	鹿児島県伊仙町	闘牛場（ドーム）の建設及び運営等
松田 昌 邦	1月28日～29日	長野県小諸市 長野県佐久穂町	小諸市健康づくり計画、他 地域コミュニティ活動の課題、他
長濱 宗 則	11月19日～21日	茨城県ひたちなか市 茨城県笠間市・坂東市	民間賃貸住宅家賃補助制度について 笠間クラインガルテン、ビジネスホテル誘致事業
	2月13日～14日	宮崎県都城市 宮崎県延岡市	ふるさと納税の取り組み、 健康長寿のまちづくり
比嘉 幸 雄	11月1日～2日	東京都（セミナー）	「あなたの知らない議会のチカラ」他
	11月19日～21日	茨城県ひたちなか市 茨城県笠間市・坂東市	民間賃貸住宅家賃補助制度について 笠間クラインガルテン、ビジネスホテル誘致事業
	1月31日～2月1日	東京都（セミナー）	「あなたの街の自治体財政」他
	2月13日～14日	宮崎県都城市 宮崎県延岡市	ふるさと納税の取り組み、 健康長寿のまちづくり
神谷 嘉 栄	1月9日～11日	滋賀県大津市（研修所） 大阪市浪速区(大國保育園)	「地域防災力を向上させるために」他 隣保事業について
	1月28日～29日	長野県小諸市 長野県佐久穂町	小諸市健康づくり計画、他 地域コミュニティ活動の課題、他
上地 榮	6月6日～7日	鹿児島県伊仙町	闘牛場（ドーム）の建設及び運営等
	1月28日～29日	長野県小諸市 長野県佐久穂町	小諸市健康づくり計画、他 地域コミュニティ活動の課題、他
伊波 篤	7月24日～25日	東京都（セミナー）	議員定数の意義と地方自治における既定の変遷
仲宗根 盛 良	4月12日～13日	福岡市（セミナー）	役所を動かす質問のしかた

## 返礼品導入を 議会が推奨！

平成28年度より、本村でもふるさと納税の返礼品制度がスタートした。政務活動費を活用し、県外のふるさと納税の在り方を研修して來た議員により、村内の特産物をふるさと納税の返礼品として全国へ発信するよう推奨してきた。



# 政策提起項目への回答

## 1. 新たな自主防災組織設立実現に向け、積極的啓蒙と既存自主防災組織への資機材の充実支援を推進すること。

(回答)

新たな自主防災組織設立に向けた取組みとしては、防災講演会の開催、自治会長へ設立に向けの説明や、出前講座等を行つており、今後も継続して取り組んでいく。

既存自主防災組織への資機材の充実支援としては、自主防災会設立時に支援しているほか、平成27年度には、大添区自主防災会、平成30年度には、都屋区自主防災会にコミュニティ助成事業を活用して、防災倉庫の整備など資機材の充実を図っている。また、平成31年度には、同事業を活用して長浜区自主防災会が整備を予定しており、引き続き、資機材の充実を図つていく。

## 2. わんぱく広場運営拡充のため、人材確保と環境整備への支援を推進すること。

(回答)

人材確保につきましては、これからも引き続き努力していく。

また、新たな環境整備については、わんぱく広場の合同ミーティング等での意見や課題提起をもつて必要な支援等について協議を重ねるとともに、自治会等新しい実施拠点についても検討を進めている。

## 3. ふるさと納税増収のため、ふるさと納税業務専従職員を配置すること。

(回答)

ふるさと納税増収に向けては、パンフレットやポスターでの告知並びに、担当部署における名刺へのふるさとづくり寄付金についてQRコードの印字等を行うことで、より積極的なPRに取り組んでいく。新たなポータルサイトについても、導入について検討している。

さらに、平成31年4月1日に施行され、改正地方税法において過大な経費や過度なPR方法による寄附金募集が規制の対象となることから、今後ともしっかりと関係法令に準じ取り組んでいく。なお、ふるさと納税業務専従職員の配置については、現時点では考えていない。



ポットごと

表紙説明  
試しに植えたコスモスがいいこの場に!  
その後、コスモスの種が企業から寄付され、ボランティア事業として大成功!インスタ映えするなど、観光客にも人気のス

## りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ65名でした。

令和元年6月定例議会は6月11日(火)から6月19日(水)まで開会予定。

○議会の日程についてホームページでお知らせしております○

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

(お問い合わせ)

議会事務局 TEL 098-982-9225